

岩手山

○概況

火山活動に変化はなく静穏に経過しました。

・地震活動（図2～図3）

火山性地震は、東岩手山、西岩手山、岩手山西側の各領域ともに少ない状態が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

・噴煙活動（図4）

遠望観測（監視カメラ：黒倉山山頂の北約8km）では、黒倉山山頂の噴気の高さは80m以下で低調な状態が続いています。

・熱活動（図5～図6）

13日、14日に実施した現地観測では、前回（2005年6月15日）と比較して、噴気、地熱地帯の状況に変化はなく、落ち着いた状態でした。

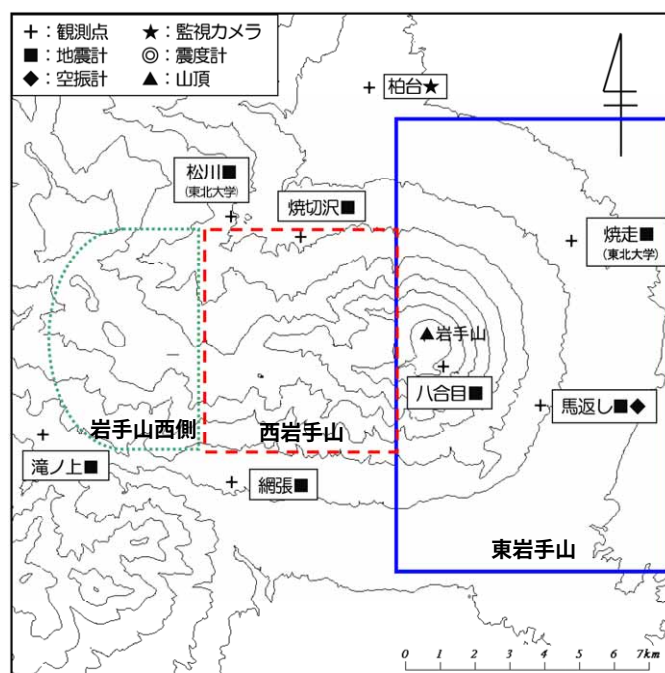


図1 岩手山 観測点配置図

※ 資料は気象庁のデータその他、東北大学のデータを利用して作成。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用したものである。（承認番号 平17総使、第503号）

◎地震活動

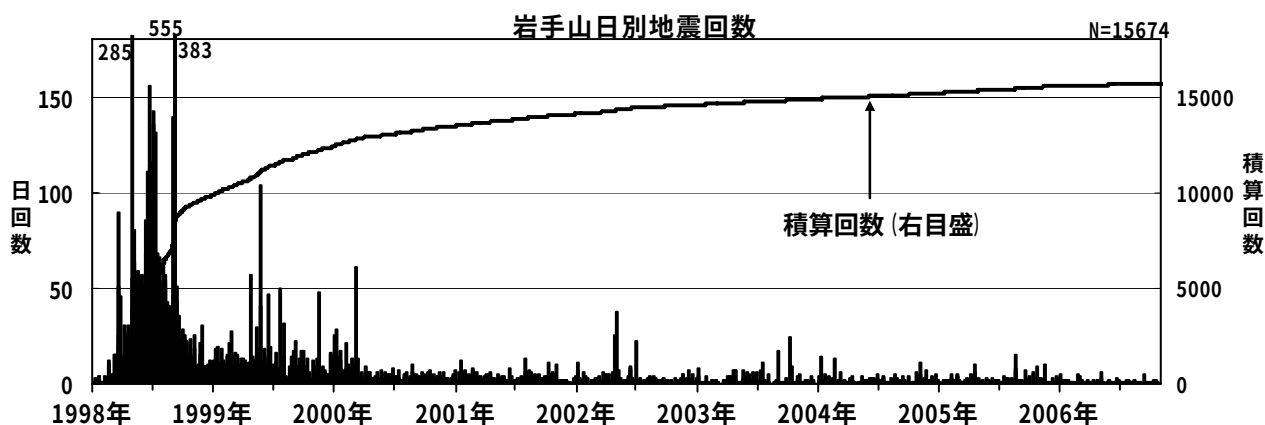


図2※ 岩手山 日別地震回数
(1998年1月～2006年10月)

注) 2006年1月1日より地震回数の基準点を、東北大学松川観測点（計数基準：S-P時間2秒以内）から
気象台焼切沢観測点（計数基準：振幅0.5 μ m/s以上でS-P時間2秒以内）に変更
2000年1月以降は、滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震を除外した地震回数
(1998年から1999年までは、滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震を含む)

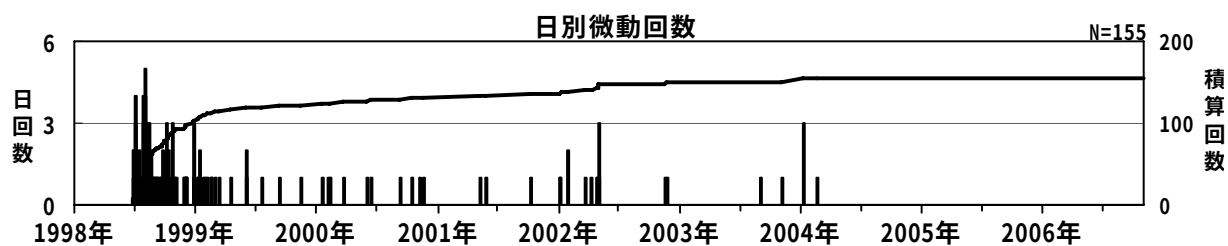


図3※ 岩手山 日別微動回数
(1998年1月～2006年10月)

◎噴煙活動

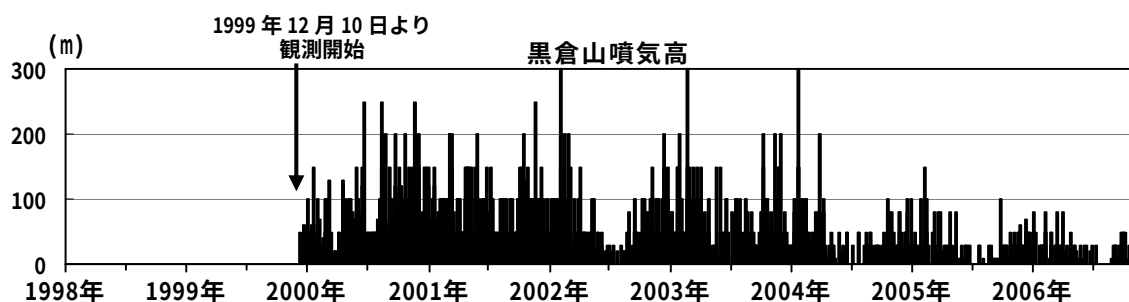


図4 岩手山 日最大噴気の高さ（黒倉山）
(1999年12月10日～2006年10月)

気象台の柏台監視カメラは1999年12月10日より観測開始。

岩手山現地観測の状況（2006年10月）

10月13、14日に西岩手山（大地獄谷、黒倉山から姥倉山）の現地観測を実施しました。その結果、前回（2005年6月15日）と比較して、噴気、地熱地帯の状況に変化はなく、落ち着いた状態にあることを確認しました（図5）。

黒倉山から姥倉山にかけての北斜面では、1999年頃から噴気活動が次第に活発になり、笹など枯死の状態となりました。しかし、噴気活動は2002年頃から低下し、2005年頃からは笹など植生が回復してきています（図6丸の範囲）。

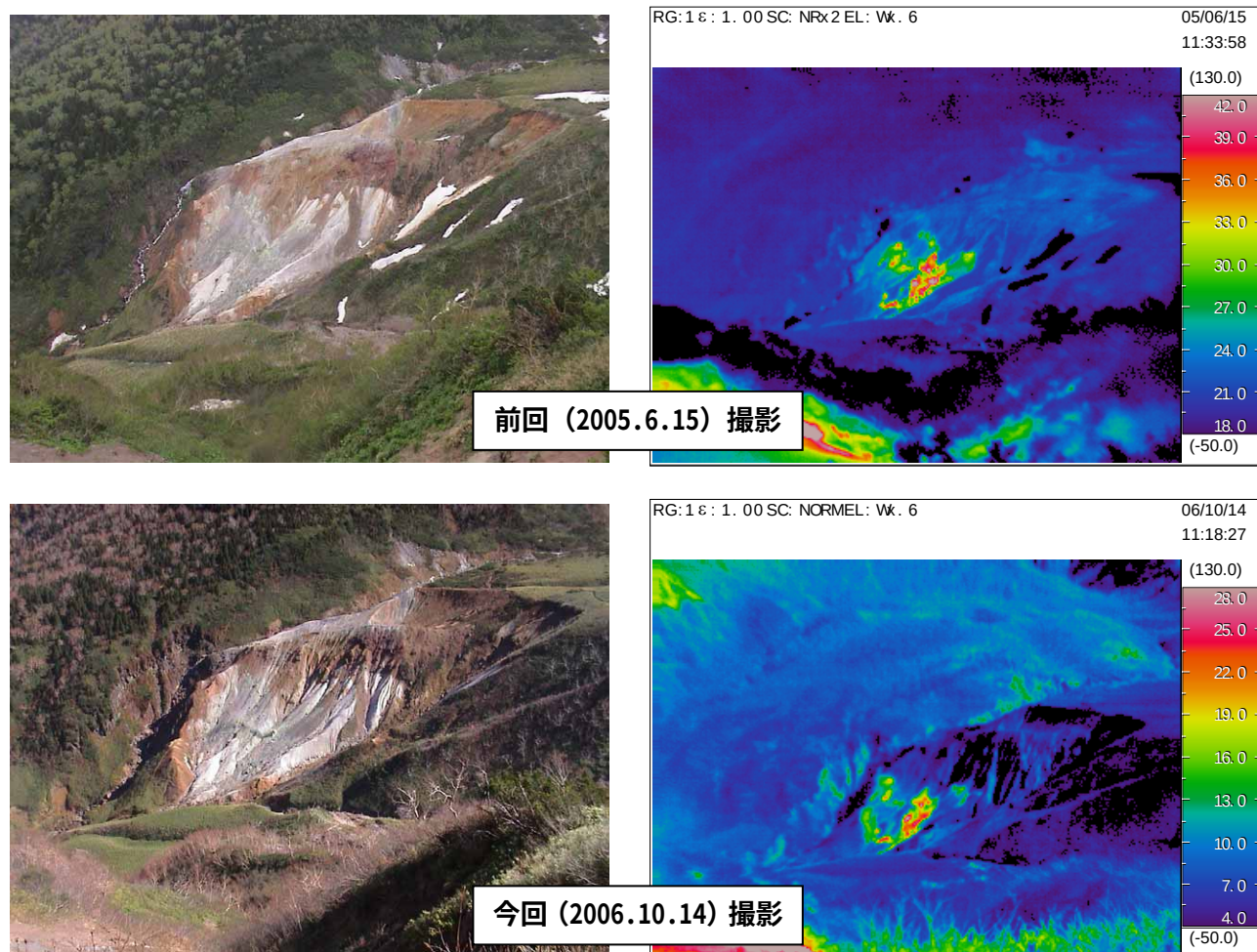


図5 大地獄谷の可視画像（左）と赤外熱映像画像（右）

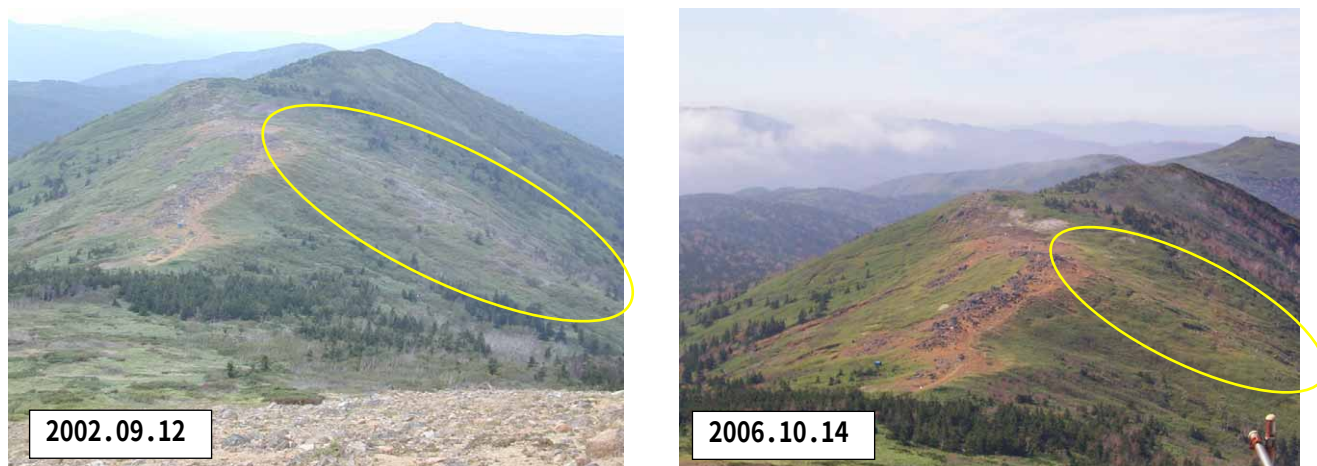


図6 黒倉山から姥倉山にかけての北斜面
(2002年9月と2006年10月の比較)